



晴天が続き、テラスや園庭に出ると、涼しい秋風がふいてきて、ひよこ組の子ども達は気持ちよさそうに遊んでいます。砂場に行くと手で砂をかき混ぜたり、小さなスプーンで砂をすくっています。プールの周りでは、一段高いデッキの段差も「よいしょ」と乗り越えトコトコ歩いて一周して戻ってきました。伝い歩きや一人歩きが上手になり、行動範囲も広がってきました。

自分で自由に行けることが楽しいようで、子どもたちの好奇心いっぱいの表情は秋の青空以上に輝いて見えました。



☆にんじん、作れたよ☆

ままごとの中に野菜がたくさんあり、1つの野菜が2,3個のパーツで分かれていて、それぞれに磁石がついています。これまでは、バラバラでお皿に入れたりしていましたがある日、月陽ちゃんが、3個くっつけて人参を作りました。

ゆあちゃん、ひなちゃん、いっちゃんも、トマトをくっつけていました。お食事では、調理しているので、元の形は、子どもたちにはまだ、分からないと思っていたのですが、同じような色や、形を合わせてみようという、子どもの好奇心には驚きました。



☆「はい」と、お返事が出来るよ。

子どもたちが、自分だけでなく、お友だちにも名前のあることに気づき始め「〇〇ちゃん」と、言うことができました。保育士が「そうよ、〇〇ちゃんよ。よく分かったね。」と、言う子どもたちは、言えた事が嬉しいようで、この後、何回も繰り返して言うようになってきました。保育士が、「〇〇ちゃん〇〇ちゃんはどこでしょう？ ここです、ここです、ここにいます 〇〇ちゃん！」と、歌いながら呼びかけると「あーい」と言って返事をするようになり、手も挙げ答えます。「上手にお返事ができましたね」と褒めると、みんなにっこり嬉しそうに笑います。小さい叶梅ちゃんは、じーっと保育士を見つめ直し、「私はここよ」と、目で知らせます。名前を通して自分の存在を認められ、その喜びをしっかりと表現出来るようになってきたことに、成長を感じます。



☆絵本面白いよ！

保育士が、「さあ絵本を見ましょうか」と、絵本を出すと、子どもたちは保育士の前に集まって来て、ちょこんと座ります。じっと、ページの画面を見たり、指さしたり、この頃は「あー」「ワンワン」等言ったりして発見や思いを伝えてくるようになりました。保育士との楽しい絵本の時間を通して、子どもたちの感性が、育ってくれればと思います。





2020年10月9日(金)

涼しい秋風に高く澄んだ空、大きく深呼吸したくなるような、気持ちの良い季節ですね。過ごしやすくなったこともあり、すみれ組のお友だちは毎日よく食べ、よく動き、遊びを楽しんでいます。昼夜の気温差があり、風邪を引きやすくなりますので、健康面には十分気をつけていきたいと思います。



「できたよ!!!」

園庭の遊具のすべり台やロープを自分で登れるようになってきました。少し前までは「せんせい、てつだって～」と言っていた子ども達が、最近は自分の手足を使って登りができるようになりました。足をかけて踏ん張り、途中で滑って最初からやり直しになっても諦めず、何度も何度も挑戦する姿と、登りきった時の「できた!!!」という言葉と笑顔に逞しさを感じます。



「みつけた!!!」

♪どんぐりころちゃん
あたまはとんがって おしりはぺちゃんこ
どんぐりはちくりしょ ぼーん!!!
という「どんぐりころちゃん」のわらべうたで遊んでいます。歌ってから園庭に出ると、子どもたちはクヌギの木の下で「どんぐりころちゃんみつけた!!!」「ぼうしもあったよ!」と言い歌いながら遊んでいます。

～新しいお友だち～

10月から新しいお友だちが増えました!
阿部 響 (A・H) くんです。
これからたくさん一緒に遊ぼうね☆

今月の壁面紹介

すみれ組のお部屋はすっかり秋模様です。今月はダンボールの側面を使ってスタンプングをしました。自分の力で上手に押さえることが出来るようになりました。かわいいみのむしが出来上がりました。



1歳児担任：太田・五島・木山



ちゅうりっぷだより



第7号

令和2年10月9日(金)

少しずつ色づいてきた園庭の木の葉に、本格的な秋の気配を感じる今日この頃です。まるで宝物でも見つけたように「先生、見て！」と、嬉しそうに拾った落ち葉やどんぐりを見せてくれる子ども達です。天気の良い日は、戸外で秋の自然に触れて十分に遊びたいと思います。

パズルがしたい！

少しずつ、子ども達の遊びが変わってきました。

子ども達に「何をして遊ぶ？」と聞くと、1番に「パズルがしたい！」との返事が返ってきます。「先生、机を出して。」と言われて机を1台出すと、「座るところがないよ。」慌ててもう1台出しますが、それでも足りず、3台目の机を出しています。

「先生、これどこ？」「先生、一緒にしよう。」と子どもから言葉をかけられ一緒にパズルをしていると、意外と難しく考えこんでいると、「先生、ここだよ。」と横からさらりと教えてくれるお友だちがいます。「あっ、ピッタリ。本当だ、ありがとう。」と子どもの頭の柔らかさに感心している保育士です。次第に「一人です。」そして「先生、見て、出来たよ。」子ども達の言葉も変わってきました。「えっと、これはここだよ。」とお友だちに教えているかいせい君の姿も見られました。「今度はこれをする。」とパズルを続ける子、また次の遊びへと移る子など毎日、十分に遊んでいます。



ままごと
してるの。



恐竜だぞ！

男の子たちに「恐竜ごっこ」が始まりました。

眉をしかめ、両手を胸前にして指を開き、保育士の方へ歩いてくる蛍君。おうた君も同じ格好で歩いています。「怖い！」と言うとそのまま「ドシン ドシン」と部屋中を回っています。そこで初めて恐竜になっていることに気づいた保育士が「ティラノサウルス蛍君！」と言葉をかけると、こちらへ近づいてきて「蛍君、ティラノサウルスになってるの。」と教えてくれました。すると、恐竜が1人・2人…と増えてきて『恐竜ランド』になっていました。

けんた君、とらじ君は「先生、見て、恐竜を作ったよ！」とレゴブロックで作った恐竜を見せてくれました。

絵本「まいごのたまご」が、いろいろな遊びへと展開しています。子ども達の育っている姿を様々な場面で目にするようになってきました。





こすもすだより

2020. 10. 09 (金)

爽やかな秋風にのってくる、キンモクセイの甘い香りと高く澄んだ空、色づいてくる木々に、秋の深まりを感じます。これから、金比羅登山や皿倉登山、マラソン大会など、こすもすぐみにとって初めての行事がたくさんやってきます。初めての登山は、決して楽な道のりではないと思います。しかし、登山を経験してやりとげたことは、強い育ちへと繋がり、かけがえのないものになるのではないかと思います。行事などを通して、子ども同士で励まし合ったり助け合ったり、自分の力で最後までやり遂げた子どもたちは、どんな成長した姿を見せてくれるのでしょうか。

みんなで力を合わせて、頑張ろう！！

10月1日(木)金比羅登山に行ってきました。この日の為に中央公園などに散歩に行き、少しずつ歩く距離を伸ばしてきました。10月が近づくと「今日、お山に登る?」「あと何回寝たら、お山登りの日?」と登山の日を心待ちにしていたこすもすぐみの子どもたち。登山への期待を膨らませた子どもたちのパワーも空に届いたようで、当日は、澄み切った青空が広がりました。子ども達は嬉しそうに足取り軽く歩き、金比羅山のふもとから頂上までは急な階段も励まし合いながら登り切りました。頂上に着き金比羅神社の神様に「皿倉山もケガをしないで、みんなで元気に登れますように」とお願いをすると、「パワーももらえた!」「これで皿倉山も登れそう!」とさっきまでの疲れた表情もパーっと明るくなった子どもたち。景色を見るとさらに疲れも飛んでいったようで「うわー。お家がたくさん!」「海が見えたよー!!」と楽しそうな表情でお友だちと話していました。帰り道では、少し疲れが出てきて、歩くペースも行きに比べるとゆっくりではありましたが、友だちと「あとちょっとで保育園に着くね。」「もう少しだから頑張ろう!」と声をかけ合ったり、好きなうたを歌いながら、一歩一歩しっかりとした足どりで歩いていました。さすがに疲れたらうなあ…という保育士の心配をよそに、保育園に着くと「早く皿倉山に登りたい!」「頑張ってる!」と皿倉登山に向けて意欲的な子どもたちでした。金比羅登山を経験した子どもたちは、お互いに助け合う優しい心や自分の力でやり遂げる強い心の育ちが見られ、頼もしさを感じました。



10月16日(金)

～皿倉登山に行きます～

<服装> 長袖・長ズボン(黒でないもの)
靴下・薄手の上着

<準備するもの>リュック・お弁当・水筒・ハンカチ
ビニール袋・レジャーシート

*9時10分ごろ出発予定です。準備がありますので8時30分までに登園をお願いします。

《お知らせ》

強い身体と心をつくるために、昼食前の時間に乾布摩擦とマラソンを予定しています。これから体調を崩しやすい時期になりますので、体調の悪い日は連絡帳や登園時にお知らせくださいますようお願いいたします。

3歳児担任：草場、尾崎

ひまわりぐみだより

令和2年10月9日(金)

木々の葉の色が変わり始め、秋の訪れも近づいています。子どもたちは、公園へ散歩に行くと、落ち葉を踏みしめたりどんぐりを拾ったり、秋の自然に親しんでいます。秋の計画の体育まつり、登山、マラソンと経験を通して大きく飛躍するこの季節です。



金比羅山に登ったよ

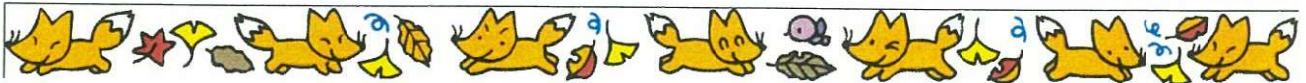
先週、金比羅登山に行ってきました。何日も前から、「あと〇回寝たら、金比羅山だよね～」と言い、楽しみにしていた子どもたち。当日は、秋晴れで登山にはぴったりのお天気でした。友だちと手を繋ぎ、「早く山に行きたい」という気持ちからか、足早に歩を進めていました。金比羅山の入り口からは、1人ずつ階段を登ります。担任の私が必死になって登る中、子どもたちはすいすいと階段を上がって行きました。

頂上の神社では、「皿倉山に無事登れますように…」とお願いをしました。その後は、お茶休憩をし、秋のさわやかな風を感じながら頂上からの景色を眺めました。「家も車も小さく見えるねえ」「あ、あのお店行ったことある」などの会話が聞かれました。赤い鉄塔をみつけたみなちゃんが真剣な顔で「先生、あれ東京タワー？」と聞いてきました。思わず笑ってしまいましたが、東京タワーの色や形を知っていることに驚きました。東京タワーも見えたらいいね～！

帰り道、皿倉山がみえると「次はあの山に行くんよね」「お弁当も持っていくんよ」などと話し、皿倉登山にも期待を膨らませている様子でした。

帰りは、空腹と疲れがあったのか、行きの元気は少し減っていましたが、全員で無事に保育園まで戻ってくることができました。

次回の皿倉登山も23人で無事に登りきりたいと思います。



—成長—

友だちとの関わりも増え、少しずつ小さな集団で遊ぶことが増えてきた子どもたち。集団でのわらべうた遊びなどを通して、自分の思いを相手に伝えたり、相手の思いにも気付いたり子ども同士でのやりとりを通して、言葉で表現するようになってきています。保育士は、そのような子どもの姿を見守り、成長を嬉しく感じています。

～新しいお友だちの紹介～

10月から、ひまわり組に新しい仲間が増えました。

『 A・S くん 』

たくさん遊ぼうね！

4歳児担任：崎野



発行：令和2年10月9日（金）

爽やかな秋風によって、キンモクセイの甘い香りと高く澄んだ空、ますます色づいてくる木々が、深まりゆく秋を感じさせます。子どもたちも吹く風に「秋のにおいがする！」「あー気持ちが良い」と全身で秋を感じ、園庭の木々の葉の色の変化に気付いたり、虫たちの声に耳を傾けたりと感性豊かです。秋を満喫する中で、ふたば体育まつりが始まりました。金比羅・皿倉登山やマラソンを経験し、目的に向かって完成することの喜びを通して1歩1歩成長していく子どもたちの姿が楽しみです。



次は皿倉登山！15人みんなで頑張ろう！

金比羅登山当日の朝「今日は金比羅登山だ！」「早く登りたいね！」「みんなで頑張ろう！」と気合い十分の子ともたちのもとへ、Aちゃんが熱のためお休みするというお知らせが入りました。「えっ！！」と驚くと「みんなで登りたかったね…」「Aちゃん大丈夫かな？」と心配そうに話し始めた子どもたち。しばらく残念そうにしていたのですが、ハッと何か思いついたようで「そうだ！金比羅山の神様のところでAちゃんの熱が良くなりますように。ってお願いしよう！」「そうやね！皿倉山はたんぽぽさん15人みんなで登れますように。って神様にお願いしよう！」と生き生きとした表情に戻り、さらに気合い十分に。

Aちゃんへの想いを胸に出発した子どもたちは、登山中、木の実や落ち葉、木々の揺れる音に耳を澄ませ、友だちと秋の実りを感じながらお話をしたりうたったり…頂上へ続く階段では保育士よりも先に進んでしまうほど足取りも軽く、ときには一緒に歩く年少・年中児を気にかけて、「頑張ろうね！」「後もうちょっとで着くよ！」と声援を送る姿に、年少児を気遣う暖かい心の成長も感じられました。そんな子どもたちは、頂上に着くと金比羅神社の神様に、「Aちゃんの熱が治って、皿倉山はみんなで登れますように」「みんなが怪我をしないで元気に皿倉山に登れますように」とお願いをしていました。神様から力を頂いた子どもたちは、「これで皿倉登山も頑張れそう！」「みんなで頑張ろうね！」と景色を眺めながら意気込んでいました。

翌日登園してきたAちゃんの姿を見ると「元気になった？昨日神様にAちゃんのことお願いしたんだよ！」「今度の皿倉山は一緒に登ろうね！」と子どもたち。みんなからの想いにAちゃんも少し恥ずかしそうにしながらも「ありがとう。すぐにお熱下がったよ！皿倉登山は一緒に頑張ろう！！」と次の皿倉登山へ“15人全員で力を合わせて頑張ろう！”という意欲をふくらませ話を弾ませていました。



お知らせ

就学に向けて、少しずつお昼寝の時間や日数を減らしていき生活のリズムを整えていこうと思っています。その日の子どもの体調等に合わせて計画していきますので、送迎時に体調等お知らせして頂けると助かります。

挑戦！！

子どもたちは「今日は〇回跳ぶ」「〇歩、歩けるようになる」と目標を決め、縄跳び・大縄・竹馬で遊んでいます。上手くできず悔しそうな表情を浮かべることがありますが、「もう1回！」「次は頑張る！」と子どもたちは、苦手なことにも積極的に挑戦し、最後まで諦めずに取り組んでいます。最後までやりぬく強い心に向かって、友達の姿に刺激を受けたり、友達同士支えあったりしながら、たんぽぽぐみ全員でさまざまなことに挑戦し、自分を乗り越えようとしています。

5歳児：桑原・田中